

弘前大学学報



第10回 弘前大学 総合文化祭 よさこい弘大

第 79 号
平成22年10月号

学内ニュース

○平成22年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式告示	弘前大学長 遠藤正彦	1
○平成22年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式を挙	行	2
○弘前大学北日本新エネルギー研究所開所式典を挙	行	3
○平成22年度 第2回科学研究費補助金説明会を開	催	4
○第2回弘前大学国際シンポジウム		
「エネルギー・環境国際シンポジウムin 青森を開	催	5
○私費外国人留学生に特別研究助成認定状を交	付	6
○科学技術振興調整費採択キックオフ講演会を開	催	7
○弘前大学大学院保健学研究科		
第2回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を開	催	8
○弘前大学附属図書館学術講演会を開	催	9
○平成22年度 第2回「クリーンデー」を	実施	10
○「学生アンバサダー」報告会を開	催	11
○第10回弘前大学総合文化祭 「テーマ『彩』」を開	催	12
○平成22年度「被ばく医療プロフェッショナル育成計	画」開講式を挙	16
○鈴木文部科学副大臣が弘前大学を視	察	18

諸 会 議	-----	19
--------------	-------	----

人 事

○新任部局長紹介	-----	22
○新任部課長紹介	-----	22
○人事異動	-----	22

主要日誌	-----	25
-------------	-------	----

平成22年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式 告 辞

異常な高温続きの夏が過ぎて津軽路にも秋が訪れ、りんご、米等収穫の時を迎えました。このようなおだやかな時、平成22年度弘前大学秋季入学式を迎えることは、教職員一同の喜びであります。医学部医学科の学士編入学20名と、大学院博士前期課程及び修士課程入学者3名、そして大学院博士後期課程入学者2名の皆さん、弘前大学入学誠にありがとうございます。教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。皆さんはそれぞれの修業年限を守って、勉学に励まれるよう期待しています。

我国の大学において、秋季入学はまだ一般的ではありません。この秋季入学制度は、欧米等の高等教育機関の入学・卒業等の時期に合わせ、教育のグローバル化に対処しようというものであります。現在は春季入学者と入学の時期がずれていますが、十分に考慮されたカリキュラムによって、秋季入学者と春季入学者とにおいて差別なく勉学できるように枠組みされておりますので、安心して勉強に励んでほしいと願います。もし何らかの不都合があれば、教員又は学務係へ申し出て、問題が早急に解決されるよう願います。

皆さんの本学における教育と研究の環境は、弘前大学が国立大学法人化されてからの6年間の内に、他大学も目を見張る程に整備されました。その中で、皆さんの教育研究を支え、そして弘前大学の特徴を表す三つの研究所が、今日皆さんの入学式と日を同じくして施設から研究所に昇格しました。それは、緊急被ばく医療の教育研究を行う“被ばく医療総合研究所”、津軽海峡の海流や地熱その他の自然エネルギーの活用を目指す“北日本新エネルギー研究所”、世界自然遺産白神を中心に据え、そして我国最大の自然観察園を附属施設として、環境保全、地球温暖化を研究するための“白神自然環境研究所”というものであり、他大学にはなく、地域に根ざした本学の著しい特徴となっております。これに加え、教育・研究の基盤として充実してきた附属図書館、学生の教科書出版等を行っている全国的にも評価の高い出版会と、地方大学としては珍しい程に大型分析機器が揃っている分析センターがあります。

皆さんは、本学のこの整備された教育・研究の環境を自分のものとして活用して、本学での勉学を有意義なものとしてほしいと願います。

今、我国ではいつ回復するとも予想のつかない不況が続いており、皆さんの先輩方は就職で苦労しています。しかし、本学はこの不況の中にあって、全国平均以上の高い就職率と各種の国家試験の高い合格率を保っています。それは、皆さんの先輩を指導してきた多くの教員と、学生就職支援センターの教職員と、皆さんの先輩の、不断の就職や己の将来に対する高いモチベーションの維持とにあると思います。

社会はこの弘前大学の学生と教員の動きを見て高く評価し、本学の卒業生に期待していることがわかります。皆さんは、これから本学学生の一員として、先輩達の努力を見習い、勉学、課外活動、ボランティア活動等を通じて、社会の高い評価を維持し、社会の期待に応えられるよう努力することを求めます。

皆さんの努力の先には、皆さんを期待する社会のあることを心してほしいと願い、告辞とします。



平成22年10月1日

弘前大学長 遠藤 正彦

平成22年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式を挙

平成22年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式が10月1日（金）午前10時30分から事務局3階大会議室において執り行われました。

平成22年秋季の入学内訳は、次のとおりです。

○医学部医学科	20名
○理工学研究科博士前期課程	1名
○理工学研究科博士後期課程	2名
○農学生命科学研究科修士課程	2名
合 計	25名



22年度秋季入学者



告辞を述べる遠藤学長

弘前大学北日本新エネルギー研究所開所式典を挙

10月1日（金）、本学北日本新エネルギー研究所で研究所開所式典を挙

行しました。開所式典では、遠藤学長から、「弘前大学北日本新エネルギー研究所は、原子力や化石燃料以外の地元青森県に豊富にある自然エネルギーの使い手として、先兵の役割がある。地元青森県や青森市との連携を強化し、中央及び地元の産業界の期待に

応えていかなければならない。」と式辞が述べられました。続いて神本研究所長より「寒冷地用EV」や「燃料電池システム等のシステム技術とシステム評価」、「シリカ還元」、「バイオマス変換」、「地熱等の熱利用」などの具体的な研究に関する説明がありました。

また、開所式典終了後には、遠藤学長・神本研究所長による北日本新エネルギー研究所の看板上掲が行われました。本学ではこの日、北日本新エネルギー研究所を含め、その他、白神自然環境研究所、被ばく医療総合研究所の3つの附置研究所が誕生しました。



看板上掲の様子



関係者による記念撮影

平成22年度 第2回科学研究費補助金説明会を開催

本学では、科学研究費補助金制度の理解を深め、研究活動のより一層の推進と充実及び採択率アップを目的として、科学研究費補助金説明会を10月1日（金）、文京町キャンパスと本町キャンパスの2会場で行いました。

加藤研究・産学連携担当理事による挨拶のあと、文京町キャンパスでは人文学部関根教授及び理工学研究科岡崎教授が、本町キャンパスでは医学研究科西條教授及び中根教授が、それぞれの経験をもとに科研費応募のポイントについてわかりやすく講演しました。講演に引き続き、学術情報部研究推進課からは「科学研究費補助金のルール・平成23年度公募の変更点」について、財務部財務企画課からは「科学研究費補助金の不正使用等について」についてそれぞれ説明があり、参加者は熱心にメモをとるなどして、科学研究費補助金の理解に努めていました。

本説明会は昨年度に引き続き、「学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム」を構成する大学（東北女子大学、弘前学院大学、東北女子短期大学、弘前医療福祉大学）の教員、（地独）青森県産業技術センター弘前地域研究所の研究員にも参加を呼びかけ、本学教職員と合わせて約200名の参加がありました。大学間で情報を共有し、連携するとともに、科学研究費補助金の採択につながる大変有意義な説明会となりました。



講演する関根教授（左上）、岡崎教授（右上）、西條教授（左下）、中根教授（右下）

第2回弘前大学国際シンポジウム 「エネルギー・環境国際シンポジウム in 青森」を開催

本学北日本新エネルギー研究所では、研究所の開所を記念し、「エネルギー・環境国際シンポジウム in 青森 第2回弘前大学国際シンポジウム」を10月6日（水）、7日（木）の2日間に渡り、弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールで開催しました。

シンポジウムには、エネルギー関連分野に取り組む海外からの研究者、国内の研究者・学生及び市民ら約300名が参加し、新エネルギーの展開や取り組みについて理解を深めていました。

シンポジウム初日は、開所記念講演として堤東京大学エネルギー工学連携センター長による「低炭素社会構築のためのエネルギー・環境技術戦略」、宋大連理工大学・エネルギー研究院長による「大連理工大学におけるエネルギー分野への取り組み」及び神本北日本新エネルギー研究所長による「北日本新エネルギー研究所の目指す研究・教育と社会の連携」と題した講演があり、その後、国内外の有識者によるパネルディスカッションが行われました。

最終日には、教員と学生によるディスカッションが行われ、エネルギー問題について、活発な議論が交わされました。



堤東京大学エネルギー工学連携センター長による講演の様子



宋大連理工大学・エネルギー研究院長による講演の様子

私費外国人留学生に特別研究助成認定状を交付

本学では、平成21年度より、博士後期課程に入学した私費外国人留学生のうち、先端的な研究やユニークな研究を行う学生に対して、研究助成金として一人50万円を支給し、その研究を支援しています。

今年度は岩手大学大学院連合農学研究科本学在籍生1名の研究を助成の対象として認定し、10月8日（金）に認定状交付式を行いました。

交付式では、遠藤学長から学生に認定状が交付され、遠藤学長並びに指導教員でもある神田教育・学生担当理事から学生へ激励の言葉が贈られました。

今回認定された岩手大学連合大学農学研究科1年の呉非さんは「自分の研究が認定を受けたことを大変光栄に思います。研究を進める上でこのような制度があることを大変心強く思います。今回の認定を励みに、今後の研究を頑張ります。」と語り、より一層の研究への意欲を見せました。



認定状を交付された学生（中央）と、
左から倉又国際交流センター長、遠藤学長、神田教育・学生担当理事、大高学務部長

科学技術振興調整費採択キックオフ講演会を開催

本学男女共同参画推進室は、10月8日（金）、「学びやすく働きやすい大学へ」をテーマに弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大八甲田ホールで科学技術振興調整費採択キックオフ講演会を開催しました。

この講演会は、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」のキックオフ企画、男女共同参画推進室設立1周年記念として開催され、教職員、学生、市民、他大学関係者、地方自治体関係者等約100名が参加しました。

講演に先立ち、山村独立行政法人科学技術振興機構科学技術振興調整費プログラム主幹より、科学技術振興調整費の意義と役割について説明があり、続いて杉山弘前大学男女共同参画推進室長より、講演会の趣旨説明と今後の活動計画が示されました。

その後、稲葉京都大学女性研究者支援センター長より、「京都大学の挑戦－研究者の現状と大学における男女共同参画－」と題する講演が行われ、講演では我が国における男女共同参画に対する取り組みの歴史と現状及び女性研究者支援の取り組みについての報告があり、参加者は熱心に聞き入っていました。講演終了後は、遠藤学長も交えて、ディスカッションが行われ、海外生活経験者による日本の男女共同参画のあり方に対する疑問、研究者支援の具体的な方法に対する質問など、活発な意見交換がなされました。



講演会の様子

弘前大学大学院保健学研究科 第2回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を開催

「緊急被ばく医療現場における医療専門職の役割と課題」をテーマに弘前大学大学院保健学研究科第2回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を10月10日（日）、本学医学部コミュニケーションセンターで開催しました。

本学大学院保健学研究科では、多くの原子力関連事業所が集中している青森県における緊急被ばく事故に対する安全、安心の確保、原子力関連企業従事者の医療リスク管理システムの構築及び被ばく医療に対応できるメディカルスタッフの養成を目指し、平成19年度から緊急被ばく医療人材育成の取組みを開始。平成20年度からは文部科学省特別経費のプロジェクト事業として「緊急被ばく医療人材育成及び体制の整備」を実施しています。

今回のシンポジウムは、本学被ばく医療総合研究所と共催し、独立行政法人放射線医学総合研究所、独立行政法人日本原子力研究開発機構、財団法人環境科学技術研究所、日本原子燃株式会社及び青森県の後援により開催したもので、関係機関から約100名が出席。保健学研究科における「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」の現状と課題が発表されたほか、フランスをはじめ国内外の関係機関から5名のシンポジストを迎え、フランスにおける緊急被ばく医療と教育、茨城県東海村JCO臨海事故での被ばく医療経験についての講演や「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」のポスターセッションが行われ、活発な質疑応答が行われるなど、参加者らは知識を深めました。

また、前日には、ウェルカムレセプションが開催され、シンポジストら関係者と本学の教員が今後の連携推進に向けて情報交換を行い、交流を深めました。



歓迎の挨拶を述べる遠藤学長



シンポジストとの記念撮影

弘前大学附属図書館学術講演会を開催

本学附属図書館では10月16日（土）、弘前大学創立50周年記念会館において第7回学術講演会を開催しました。この講演会は、学生の学術研究に対する意識向上と地域社会への貢献を目的として、毎年、各学術研究分野の著名人を招き開催しているもので、今年は、本学のキャンパスの一部が旧陸軍弘前第八師団司令部の跡地であることから、軍事史が専門の明治大学文学部の山田朗教授を講師に迎え、「『坂の上の雲』の時代 日露戦争と弘前第八師団」と題し、同師団が日露戦争の勝利に果たした役割と明治という時代を、北の視点から多面的に解き明かすことをテーマとして開催されました。

山田教授は、英露対決という日露戦争時の世界情勢と日本軍の通信や、連携プレーが随所で功を奏し兵力に勝るロシア軍に勝利した経緯を専門の軍事史研究のデータを示し克明に解説し、様々な教訓は後の日本軍に正しく受け継がれず、誤った成功事例に固執して太平洋戦争を戦ったことを指摘しました。

また、秋山兄弟や陸羯南など司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」の登場人物の興味深いエピソードにも触れ、参加者した市民、学生など約250人は熱心に耳を傾けました。



山田教授による講演の様子

平成22年度 第2回「クリーンデー」を実施

本学では、総合文化祭を控えた10月20日（水）に本年度2回目の「クリーンデー」を全キャンパスにて実施しました。

当日は少し肌寒さが感じられる天候にも関わらず学生・教職員合わせて100名を超える参加者があり、遠藤学長を先頭にキャンパス内のごみや空き缶等を収集・分別し最終的に70kgを超えるごみが回収され、総合文化祭開催準備が整いました。

なお、今年度の「クリーンデー」は今回で終了しますが今後も継続し、キャンパスの環境保全に努めます。



挨拶する遠藤学長



ごみ回収の様子

「学生アンバサダー」報告会を開催

本学では、10月21日（木）、「学生アンバサダー」報告会を開催しました。

「学生アンバサダー」制度とは、本学の学生を『学生大使』として出身高等学校へ派遣し、後輩である高校生に本学の魅力や学生生活等について説明するもので、本学に対する理解増進を目的に一昨年度から実施しています。派遣先の高等学校から好評であったことから、今年度も継続され、3回目の実施となりました。

報告会には派遣者13名のうち9人が出席し、大学の魅力、学生生活をプロジェクターを使用し、高校生に説明したことなどが報告されました。

今回の報告会を通じて、「受験勉強」に関することを含めた高校生に身近な視点から大学を理解してもらい、学生の目線で意見交換を行うことの重要性が再認識させられるとともに、派遣先の高等学校からは、「進路選択の励みになる」、「先輩から刺激をもらったことでやる気を起こし始めた生徒が出てきた」といった感想がありました。



「学生アンバサダー」報告会の様子

第10回 弘前大学総合文化祭 「テーマ『彩』」を開催

第10回弘前大学総合文化祭が10月22日（金）から24日（日）の3日間にわたり、本学文京町キャンパスで開催されました。

今年のテーマ『彩』は、地域の方々、弘大生、教職員、留学生等、様々な方の手によって、総合文化祭が彩られ、華やかな盛り上がりを見せて欲しいという思いから掲げられました。

オープニングフェスティバルでは、集まった大勢の観客を前に総合文化祭推進委員会委員長の遠藤学長が声高らかに開祭宣言し華々しくスタートしました。

期間中は、学生主体の模擬店でキャンパスは賑わい、学生の日頃の研究成果をもとにした実習や実験を直接体験できる「サイエンスの招待」をはじめとし、様々な研究発表がありました。さらに、本年度は第10回弘前大学総合文化祭特別企画として、「どきどきキャンプお笑いライブ」が開催され、会場は大きな拍手と笑いに包まれました。また、教職員の芸術作品を展示した「職員芸術・造形作品展」や県内各地から計8チームが集合し、華麗な演舞を披露した「よさこい弘大」、文京町キャンパスを舞台に熱戦が繰り広げられた「駅伝大会」といったイベントの他に、一般来場者が参加できる「Let's enjoy BINGO!」や「アームレスリング大会」、「〇×クイズ」など多彩な催しも行われました。

昨年同様、包括協定を締結している弘前市により行われた「地元産農産物販売、りんごジュース無料試飲会」や、青森で採れた海と山の幸の紹介及び販売を行った「鱈ヶ沢物産展フェア」にも多くの来場者が訪れていました。

本学後援会からの助成によるキャンパス内外を彩る幟、提灯も掲げられ、お祭りムードを盛り上げていました。

学生、教職員、地域住民が一体となり本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。主な催しは次のとおりです。

【全学イベント】

Opening Festival
職員芸術・造形作品展
よさこい弘大
駅伝大会
Final Festival
学長主演イベント
花火
てがた DE アート～みんなでつくろう彩りの空～

【学術文化祭イベント】

緊急被ばく医療人材育成プロジェクトの紹介
知の宝！古本市～リユースブックフェア～
雇用政策研究センター研究成果公開
つがるブランド化（社会実験）
下北半島の亀ヶ岡文化
フリーマーケット
「弘大サイエンスパーク」農学生命科学部動物標本展示室・特別公開
プロカメラマンが撮影した「動物標本写真展」
放送大学オープンキャンパス

市民公開講座「最新の放射線医療」
スポーツフェスティバル2010「遊びのバイキング」
地域環境工学科の研究・教育内容紹介
献血推進事業
弘前里山 農家自慢のお料理・漬物コンテスト
市民公開講座「がんを知る」
みんなで作ろうインターナショナル・エコバッグ
生物学科紹介
津軽地域づくり研究会シンポジウム
地元産農産物等販売・りんごジュース無料試飲会
鱒ヶ沢町物産展
金木農場産米の販売
白神山地の四季
世界各地の風景と一緒に写真を撮ろう
世界のライブカメラ
健康安全祭り
エネルギーコーナー
ミニ・オープンキャンパス
自分は何になる？ 適職診断テストをやってみよう
〈ラボバス講座ショーケース〉「グラスハーブの演奏と音に関する実験学習」
集い、ともに歌おう！ 「団塊世代」の「歌声」運動の足跡をたどる
カレーうどんと遺伝子実験施設案内
世界と日本のおいしい珈琲
サイエンスへの招待
楽しい科学
産学連携特別講演会 弘大 GOGO ファンド成果発表
役立つ最近の医療情報
裁判員制度シンポジウム～青森県の裁判員裁判を考える～
市民公開講座「農山村地域の魅力を探る」

【弘大祭 オフィシャルイベント】

看板男子コンテスト ～貴方の心、彩ります～
Let's enjoy BINGO!
イントロ♪ステーション～名曲ドレミファソラシどん～
パフォーマンス LIVE ☆
看板娘コンテスト ～君が彩る虹色ステージ～
腕相撲大会 in 弘大
第10回弘前大学総合文化祭特別企画どきどきキャンプお笑いライブ
DANCE SHOW TIME!
学部長 VS 弘大生～学部長とガチンコバトル～
目指せ弘大カラオケキング
○×クイズ
弘大祭グルメバトル！～心も体も満腹に♪～
強運王は誰だ！？
大抽選会
弘前大学ソフトボール大会2010
スタンプラリー2010
着ぐるみで癒されよう！

【学部祭】
教育祭
医学祭
理工祭
収穫祭



遠藤学長の開祭宣言



来場者で賑わうキャンパス



よさこい弘大



弘前大学 YOSAKOI サークル「焰舞陣」による華麗な演舞



駅伝大会



看板娘コンテスト



腕相撲大会 in 弘大



学長主役イベント



Final Festival



平成22年度「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」 開講式を挙

10月25日（月）、平成22年度文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムに採択された「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」の開講式を弘前大学創立50周年記念会館で挙

行しました。本事業は、原子力関連施設が数多く存在する地域の背景をもとにした青森県の地域再生計画に基づき、本学と青森県及び原子力事業者が連携し、被ばく医療の基礎から救命救急医療にも及ぶ幅広い専門領域の諸問題を理解できる能力を習得させる専門性の高い教育研究カリキュラムを構築し、被ばく医療のプロフェッショナルを育成することを目的としており、育成期間は3年間。第一期生として、科学コース3名（大学教員1名、診療放射線技師1名、行政担当者1名）、医科学コース6名（救急救命士2名、行政担当者1名、看護師3名）、計9名の受講者が決定しています。

開講式では、遠藤学長、三村青森県知事（石岡青森県健康福祉部次長代読）の式辞に続き、来賓として、鈴木文部科学副大臣、嶋（財）環境科学技術研究所理事長、山下（独）科学技術振興機構科学技術振興調整費プログラム主管から祝辞が述べられました。最後に、受講生を代表し、弘前消防署勤務 渡邊健一郎さんから、「青森県における緊急被ばく医療の中心的役割を担うと共に、県民が安心して暮らせる社会実現の一翼となることを約束します」との決意が述べられました。

開講式に引き続き、記念講演会が開催され、明石（独）放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター長が、「緊急被ばく医療から学ぶもの」と題して講演し、参加した約150名が熱心に聞き入りました。また、記念講演会終了後、受講生・講師・関係者を交えた意見交換会が開催され、活発な意見・情報交換が行われました。



式辞を述べる遠藤学長



祝辞を述べる鈴木文部科学副大臣



講演する明石（独）放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター長

鈴木文部科学副大臣が弘前大学を視察

鈴木文部科学副大臣が、10月25日（月）、「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成22年度開講式に出席するため本学を来訪し、開講式終了後、医学部附属病院を視察しました。

本年7月に本格稼働した高度救命救急センターの視察では、浅利センター長から重症全身熱傷を治療するBCU（無菌室）、緊急被ばく医療に対応した特殊処置室などの設備、同センターが地域の緊急医療に果たす役割の大きさなどについて説明が行われ、鈴木副大臣は熱心に聞き入っていました。

同センターの視察に引き続き、附属病院長室において遠藤学長、花田附属病院長、佐藤医学研究科長、対馬保健学研究科長らと懇談が行われ、冒頭に遠藤学長から同大の概要及び主要な取り組み等について説明があった後、医学部及び附属病院の現状、今後の大学運営などについて活発な意見交換が行われました。

なお、視察には平野秘書官が随行したほか、附属病院長室での懇談には小西（独）科学技術振興機構副調整役が同席しました。



説明を受ける鈴木文部科学副大臣（左から2番目）



懇談する鈴木文部科学副大臣（左から3番目）ら

■ 諸 会 議

▼役員会

10月4日（月）

審議事項

- 1 情報公開について

報告事項

- 1 各種ランキングについて
- 2 光熱水使用量四半期第1回報告書について
- 3 パブリックコメントへの対応について

10月25日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
- 2 調査委員会の設置について

報告事項

- 1 平成22年度学位記授与式及び平成23年度入学式の日時・場所について
- 2 業務改善の取組について
- 3 国立大学法人弘前大学の平成21年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- 4 緊急教育推進会議要項の制定について
- 5 平成22年度弘前大学研究サポートスタッフ派遣制度の選考結果について
- 6 パブリックコメントへの対応状況について
- 7 平成22年度の追加配分について

▼教育研究評議会

10月12日（火）

審議事項

- 1 緊急教育推進会議（仮称）の設置について

報告事項

- 1 教員の人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
 - 2 平成23年度の政府予算編成について
 - (1) 政府の予算編成方針について
 - (2) パブリックコメントへの対応について
 - 3 各種ランキングについて
 - 4 総合文化祭について
 - 5 弘前大学芸術祭について
 - 6 平成22年度科学研究費補助金不採択者支援事業の決定について
 - 7 放射線障害予防規程の一部改正について
 - 8 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 第3次臨時入学試験改善委員会
 - (4) 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議
 - (5) 研究・産学連携委員会
 - (6) 財務・施設委員会
-

▼教育・学生委員会

10月27日（水）

審議事項

- 1 平成22年度FD活動について
- 2 平成22年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施等について
- 3 平成23年度授業開始までの日程について
- 4 懲戒処分規程における「試験等」の範囲について
- 5 岩谷元彰弘前大学育英基金運営委員の選出について

報告事項

- 1 緊急教育推進会議について
- 2 第31回全国国立大学学生指導担当副学長協議会について
- 3 平成22年度「大学教育推進プログラム」等の審査結果について
- 4 平成22年度後期学期途中の学生による授業評価アンケートについて
- 5 公開授業・検討会について
- 6 出張講義・ドリーム講座の一本化について
- 7 平成22年度前期懲戒処分について
- 8 弘前大学総合文化祭について
- 9 平成22年度東北地区大学体育大会（剣道）結果について
- 10 有酸素トレーニング用機器使用に関する講習会について
- 11 平成23年度大学院予約採用推薦数について
- 12 平成22年度秋季入学者入学料免除について

▼研究・産学連携委員会

10月28日（木）

審議事項

- 1 平成23年度弘前大学特別研究員募集について

報告事項

- 1 研究・産学連携委員会委員の変更について
- 2 平成22年度弘前大学研究サポートスタッフ派遣制度の選考結果について
- 3 地域共同研究センター運営委員会レンタルラボ利用推進専門委員会の設置について
- 4 地域共同研究センター運営委員会（9/28）の報告について

新任部局長紹介



北日本新エネルギー研究所長
かなもと まさゆき
神本 正行

神本北日本新エネルギー研究所教授が、平成22年10月1日付けで本学北日本新エネルギー研究所長に発令されました。



白神自然環境研究所長
ささき ちゅういち
佐々木 長市

佐々木農学生命科学部教授が、平成22年10月1日付けで本学白神自然環境研究所長に発令されました。



被ばく医療総合研究所長
さとう けい
佐藤 敬

佐藤医学研究科教授が、平成22年10月1日付けで本学被ばく医療総合研究所長に発令されました。

新任部課長紹介



財務部財務管理課長
ふかだ こういち
深田 浩一

深田秋田大学財務課総括主査が、平成22年10月1日付けで本学財務部財務管理課長に発令されました。

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日		深田 浩一	財務管理課長(財務)
平成22年10月1日		吉 中 淳	准教授(教育)
平成22年10月1日		李 秀 眞	講師(教育)
平成22年10月1日		伊 高 健 治	准教授(北日本新エネルギー研究所) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日		官 国 清	准教授(北日本新エネルギー研究所) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日		井 岡 聖 一 郎	准教授(北日本新エネルギー研究所) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日		浅野 クリスタ	助教(医) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日		諸 橋 一	助教(医) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日		田 中 佳 人	助手(医) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日		梅 原 実	講師(病院) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日		渡 辺 健 一	助教(病院) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日		大 石 裕 誉	助教(病院) [平成27年9月30日まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	助教(理工)	中澤 日出樹	准教授(理工)
平成22年10月1日	講師(病院)	鳴海 俊治	准教授(医) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日	助手(医)	渡邊 祥二郎	助教(医) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日	講師(病院)	須具 道博	准教授(病院) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日	助教(医)	村田 暁彦	講師(病院) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日	助教(病院)	目時 友美	講師(病院) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日	助手(病院)	佐藤 知彦	助教(病院) [平成27年9月30日まで]

【配置換】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	財務管理課長(財務)	遠藤 貴生	総務部付
平成22年10月1日	予算グループ係長(財務・予企室)	山形 浩貴	総務グループ係長(財務・財企)
平成22年10月1日	経営企画グループ係長(病院・経企)	坂本 良紀	予算グループ係長(財務・予企室)
平成22年10月1日	教務企画グループ係長(学務・教務)	粕谷 常好	経理グループ係長(財務・財管)
平成22年10月1日	経理調達グループ係長(病院・経調)	三戸 覚	契約グループ係長(財務・契約)
平成22年10月1日	契約グループ係長(財務・契約)	葛西 一宏	教務企画グループ係長(学務・教務)
平成22年10月1日	総務グループ係長(財務・財企)	長谷川 公栄	経営企画グループ係長(病院・経企)
平成22年10月1日	経理グループ係長(財務・財管)	高松 達典	調達課経理調達グループ係長(病院・経調)
平成22年10月1日	事務室長(被ばく医療教育研究施設)	渡辺 弥	事務室長(被ばく医療総合研究所)
平成22年10月1日	教授(北日本新エネルギー研究センター)	神本 正行	教授(北日本新エネルギー研究所) [平成25年3月31日まで]
平成22年10月1日	教授(北日本新エネルギー研究センター)	村岡 洋文	教授(北日本新エネルギー研究所) [平成29年3月31日まで]
平成22年10月1日	教授(北日本新エネルギー研究センター)	島田 宗勝	教授(北日本新エネルギー研究所) [平成29年3月31日まで]
平成22年10月1日	教授(北日本新エネルギー研究センター)	阿布里 提	教授(北日本新エネルギー研究所) [平成31年3月31日まで]
平成22年10月1日	准教授(白神自然観察園)	中村 剛之	准教授(白神自然環境研究所) [平成29年1月31日まで]
平成22年10月1日	助教(白神自然観察園)	山岸 洋貴	助教(白神自然環境研究所) [平成27年1月31日まで]
平成22年10月1日	教授(被ばく医療教育研究施設)	吉田 光明	教授(被ばく医療総合研究所) [平成32年3月31日まで]
平成22年10月1日	助教(被ばく医療教育研究施設)	中田 章史	助教(被ばく医療総合研究所) [平成27年5月15日まで]
平成22年10月1日	助手(病院)	是川 あゆ美	助手(医) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日	助教(医)	丹羽 英智	助教(医) [平成27年9月30日まで]

【併任】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	教授(北日本新エネルギー研究所)	神本 正行	北日本新エネルギー研究所長 [平成24年6月15日まで]
平成22年10月1日	教授(農生)	佐々木 長市	白神自然環境研究所長 [平成23年3月31日まで]
平成22年10月1日	教授(医)	佐藤 敬	被ばく医療総合研究所長 [平成23年3月31日まで]
平成22年10月1日	教授(医)	袴田 健一	医学部附属病院小児外科科長
平成22年10月1日	教授(医)	大山 力	教授(医・先進移植再生医学講座) [平成27年9月30日まで]

【任命】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	教授(北日本新エネルギー研究所)	神本 正行	教育研究評議会評議員 [平成24年6月15日まで]
平成22年10月1日	教授(農生)	佐々木 長市	教育研究評議会評議員 [平成23年3月31日まで]
平成22年10月1日	財務管理課長(財務)	深田 浩一	財務・施設委員会委員(命)
平成22年10月1日	総務部付	遠藤 貴生	財務・施設委員会委員(免)

【任用更新】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	講師(医)	土岐 力	講師(医) [平成29年9月30日まで]
平成22年10月1日	助教(病院)	吉村 徹郎	助教(病院) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月1日	助教(病院)	小山 基	助教(病院) [平成27年9月30日まで]
平成22年10月26日	教諭(教育・附小)	齋藤 美奈子	教諭(教育・附小) [平成22年12月19日まで]

【休職】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	総務部付	遠藤 貴生	病気休職 [平成24年3月31日まで]
平成22年10月1日	助教(医)	工藤 耕	研究休職 [平成23年9月26日まで]
平成22年10月1日	助教(医)	丹羽 英智	研究休職 [平成23年10月1日まで]

【育児休業】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月7日	助教(病院)	鈴木 香	平成23年4月1日まで
平成22年10月13日	看護師(病院・看護部)	原田 絵美子	平成25年3月31日まで
平成22年10月19日	看護師(病院・看護部)	箱田 綾乃	平成24年3月31日まで

【復職】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	看護師(病院・看護部)	成田 真子	育児休業より
平成22年10月1日	看護師(病院・看護部)	一戸 亜紀子	育児休業より
平成22年10月1日	看護師(病院・看護部)	竹村 愛香	育児休業より
平成22年10月1日	看護師(病院・看護部)	對馬 和恵	育児休業より
平成22年10月1日	看護師(病院・看護部)	栗津 朱美	育児休業より
平成22年10月1日	看護師(病院・看護部)	清野 友佳子	育児休業より
平成22年10月2日	助教(医)	遠瀬 龍二	研究休職より
平成22年10月16日	教諭(教育・附中)	三上 理恵	育児休業より

【離職】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月15日	教諭(教育・附中)	大川 千佳子	任期満了退職
平成22年10月31日	講師(病院)	長畑 守雄	辞職
平成22年10月31日	臨床検査技師(病院)	舩 甚満	辞職
平成22年10月31日	臨床検査技師(病院)	齋藤 馨	任期満了退職
平成22年10月31日	看護師(病院・看護部)	中山 茜	辞職

【出向】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年10月1日	一般職員(総務・人事)	櫻田 和享	国立大学法人東北大学 [平成23年9月30日まで]

■ 主要日誌

- 10月1日 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式
弘前大学北日本新エネルギー研究所開所式典
- 4日 名誉教授との懇談会
名誉教授との昼食会
役員会
- 6日 第2回弘前大学国際シンポジウム「エネルギー・環境国際シンポジウム in 青森」
- 7日 第2回弘前大学国際シンポジウム「エネルギー・環境国際シンポジウム in 青森」
- 8日 科学技術振興調整費採択キックオフ企画・男女共同参画推進室設立1周年記念講演会
- 12日 企画戦略会議
教育研究評議会
- 19日 事務連絡会議
- 20日 第2回「クリーンデー」
- 22日 総合文化祭
- 23日 総合文化祭
- 24日 総合文化祭
- 25日 平成22年度「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」開講式
鈴木文部科学副大臣が弘前大学を視察
役員会
- 26日 経営協議会
- 27日 教育・学生委員会
- 28日 研究・産学連携委員会
- 29日 平成22年度基礎コース修了式・アドバンストコース開講式・記念講演会

弘前大学学報第79号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111